

1. 科目名 (単位数)	産業・組織心理学／組織心理学 (2 単位)		3. 科目番号	PSMP3352
2. 授業担当教員	蓮井 千恵子			
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	「社会心理学」の単位を修得した後に履修するのが望ましい。			
7. 講義概要	産業・組織心理学は、現場で働く人々のニーズに研究知見が直結する応用的分野である。これはすなわち、産業・組織心理学の研究知見が、組織を運営する人々や組織で働く人々、さらに社会人として大小の組織に加入することになる学生にとっても、現場の状況理解や問題解決につながる有用な知見が蓄積されているということである。本授業では、組織の中で、個人がどう知覚し、どのように行動し、態度を形成して、組織活動に参画していくのかについて理解する。さらにリーダーシップ行動や組織における意思決定や消費者行動について学ぶ。こうした産業の中で効率を上げるための心理学だけでなく、メンタルヘルスを向上させることで組織が活性化するという立場に立って、コミットメント、動機づけなどを含む職務満足、さらにはキャリア発達の視点とキャリアカウンセリングについて理解する。そして、学んだ産業・組織に関する知見に対して、どのような心理的な援助ができるのかについて考究する。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織活動や消費者行動と組織における人の行動について理解し、説明できる。</li> <li>2. 組織の中で人の成長を促すもの、障害となるものについて理解し職場における問題に対して必要な心理的支援について考究できる。</li> <li>3. 組織活動を通して、我々が成長し、幸せになるためには、どのような視点を持つことが必要なのかについて考究し、就職する組織についての基準を自分なりに創造することができる。</li> </ol>			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事前学習と事後学習を必須とする。</li> <li>2. 授業時に、学習の内容の理解を確認する小レポートを課す予定である。</li> </ol>			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】新田泰生編『産業・組織心理学(公認心理師の基礎と実践 第20巻)』遠見書房、2019			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織活動や消費者行動と組織における人の行動について理解し、説明できる。</li> <li>2. 組織の中で人の成長を促すもの、障害となるものについて理解し、職場における問題に対して必要な心理的支援について考究できる。</li> <li>3. 組織活動を通して、我々が成長し、幸せになるためには、どのような視点を持つことが必要なのかについて考究し、就職する組織についての基準を自分なりに創造することができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業態度と参加姿勢、および日常の学習状況 総合点の40%</li> <li>2. レポート 総合点の30%</li> <li>3. 期末試験 総合点の30%</li> </ol>			
12. 受講生へのメッセージ	自分らしく幸福に生きるための鍵になるものが「働くこと」と言っても過言ではありません。本講義では、「組織の中で働くことはどういうことなのか」について検討し、個人および組織を対象とした心理的支援について学びます。私達自身も組織の中で働きます。自分事としてとらえ、積極的な関心を持って授業に臨んでもらいたいと思います。皆さんの理解度によりシラバスの進み具合は変更することがあります。			
13. オフィスアワー	講義の初めに周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション	事前学習	テキストのはじめに p. 4, 5 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第2回	産業・組織心理学の意義と方法	事前学習	テキストの第1章 p. 11-22 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第3回	産業組織とは	事前学習	テキストの第2章 p.23-35 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第4回	組織における人間の行動—仕事へのモチベーションとリーダーシップ	事前学習	テキストの第3章 p.36-48 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第5回	働くことと法 労働法について	事前学習	テキストの第4章 p. 49-58 を読む	
		事後学習	レポート課題	
第6回	働くことと法 安全配慮義務、ハラスメント対策など	事前学習	テキストの第4章 p. 59-78 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第7回	ワーク・ライフ・バランスとキャリア形成	事前学習	テキストの第5章 p.80-92 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第8回	産業臨床心理学の視点から	事前学習	テキストの第6章 p.93-105 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第9回	産業保健の視点から	事前学習	テキストの第7章 p. 106-118 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第10回	従業員支援プログラム (EAP)	事前学習	テキストの第8章 p. 121-133 を読む	
		事後学習	講義の内容を復習する。	
第11回	組織へのコンサルテーションと心理教育	事前学習	テキストの第9章 p.134-146 を読む	
		事後学習	レポート課題	

第12回	復職支援	事前学習	テキスト第10章 p.147-158を読む
		事後学習	講義の内容を復習する。
第13回	再就職・障害者就労における心理支援	事前学習	テキストの第11章 p. 159-171を読む
		事後学習	講義の内容を復習する。
第14回	産業心理臨床における心理療法	事前学習	テキスト第13章 p. 185-197を読む
		事後学習	講義の内容を復習する。
第15回	まとめ	事前学習	講義の概観を理解する。
		事後学習	講義の内容を復習する。
期末試験 期末試験では、成績評価の基準に沿った問題を提出します。準備をお願いします。			